令和７年度　自己評価・学校関係者評価報告書

令和８年３月３１日

（学）金沢学園(認)金沢南保育園

１、本園の保育目標

・健康で明るく素直な子ども

・たくさん経験をし、五感を豊かに想像力をふくらませる子ども

・優しさ、思いやり、勇気、感動を共有できるこども

・人の話を聞いて、自分の気持ちを言葉で表現できる子ども

２、本年度重点的に取り組む目標・計画

・一人ひとりの幼児を大切にし、安全な保育を心掛ける。

３、評価項目の達成及び取り組む状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	保育の環境を整える。	A	遊びや異年齢のかかわりが充実できるように、工夫した環境を整えることができた。
2	保育の質向上のために、園内研修を充実させる	B	日々の保育について、PDCA を行ったことで、保育に対する意欲が高まった。
3	特別支援教育のための園内支援体制を整備する。	A	個の共通理解を図り、一人ひとりに合わせたかかわりを考え支援計画を作成した。家庭や関係機関との連携も図り、十分な支援ができた。

評価（A・・十分に成果があった　B・・成果があった　C・・少し成果があった　D・・成果がなかった）

４、総合的な評価結果

評価	
A	３つの評価項目について取り組んだ結果、子ども一人ひとりの置かれた環境を一番に考え、安全で安心な保育を実践する事ができた。さらなる保育の質向上に向けた課題も明確になったので次年度に達成できるように取り組んでいきたい。

評価（A・・十分に成果があった　B・・成果があった　C・・少し成果があった　D・・成果がなかった）

５、今後取り組む課題

	課　題	
1	環境	保育の環境（物的・人的）の充実を図る。
2	保育の質向上	園内外の研修に参加し、日々の保育を振り返り、意識の向上を図る。
3	個の理解	個の理解をより深める為、話し合いの場を継続して設ける。

６、学校関係者評価委員会の評価

＊委員の総合的見解は、総合評価の A と同様にほぼ評価が高かった。

・先生たちが日々子ども達とじっくり関わることができている。

・職員間だけでなく、地域、保護者、ボランティアなどの専門知識がある方を頼ることも良い。